

「北海道グローバル戦略（2023改訂版・案）」についての
市町村・関係団体からの意見募集結果

令和5年（2023年）9月19日

「北海道グローバル戦略（2023改訂版・案）」について、市町村をはじめ、経済・観光、一次産業など様々な分野の全道的な団体からご意見を募集したところ、5団体のべ11件のご意見が寄せられました。ご意見の要旨及びご意見に対する道の考え方については、次のとおりです。

No	意見の概要	意見に対する道の考え方
1	<p>P4 戦略の改訂にあたって（2023.改訂時）</p> <p>国際情勢の変化による生産活動や物流の停滞、燃料・原材料価格の高騰など、国際的な情勢認識に基づいて内容が改訂されており、よいと考える。</p>	<p>有識者や関係団体等との迅速な情報共有の仕組みづくりを構築するなどし、今後とも国際情勢の変化に対応した施策の推進に努めてまいります。</p>
2	<p>P4 戦略の改訂にあたって（2023.改訂時）</p> <p>「また、庁内会議等を見直し、全庁的な連携体制を強化するなど、庁内連携体制の強化を進めます。」という文言について、単に言葉の繰り返しと取られる懸念がある。</p>	<p>ご指摘のとおり、「また、庁内会議等を見直し、庁内連携体制の強化を進めます。」に修文します。</p>
3	<p>P7 2 北海道の現状と、今、求められているもの</p> <p>「北海道と世界のつながり」中、「道内港分の食品輸出額は、5年間で1.1倍」とあるが、「食の輸出拡大戦略」と整合性を図るべき。</p>	<p>ご指摘のとおり、「食の輸出拡大戦略」に基づき最新のデータに置き換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年間で1.1倍（2021/2017）→1.3倍（2022/2018） ・ 2021年はホタテガイの輸出増加により前年比33.2%増→2022年はホタテガイ等の輸出増加により前年比28.3%増
4	<p>P9 数字でみる北海道の現状</p> <p>「食品輸出額」グラフは、「食の輸出拡大戦略」と整合性を図るべき。</p>	<p>ご指摘のとおり、「食の輸出拡大戦略」に基づき最新のデータに置き換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グラフに2022(年)989(億円)を追記 ・ 2021年の食品輸出額は、771億円と対前年比で33.2%増加 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた経済活動の再開や、潜在的な需要の強い国の輸出が伸張したため、過去最大と同水準まで回復。 → ・ 2022年の食品輸出額は、989億円と対前年比で28.3%増加 ・ 各国の経済活動の再開や生産量が低調だった品目が回復したこと等により、輸出額が増加し、過去最大を記録。

5	<p>P14 3 展開方向 <u>展開方向Ⅰ：北海道の魅力や強みを活かした海外展開</u> <u>(1) 北海道ブランドの確立と戦略的活用</u></p> <p>「対応方向」に、「本道の再エネ資源を活用したGX投資の誘致等について」を追加するか、③の「半導体やデータセンターなどデジタル関連産業の誘致」の中に含めて記載してはどうか。 また、上記と連動し、GXに関する項目を「取組イメージ」の中に追加する。</p>	<p>世界的な脱炭素化の機運を受け、国際的にも環境に配慮した投融资が活発化しており、北海道の有する国内随一の再エネポテンシャルを最大限に活用し、ゼロカーボン北海道の実現を目指していくためには、産学官金が協力し、国内外からの環境投資を呼び込むことが必要と考えます。</p> <p>今回お示した戦略案においては、「展開方向Ⅲ」において、すでに海外からの投資促進を掲げていることから、ご提案いただいた内容を踏まえ、20ページの「対応方向」と20、25ページの「取組イメージ」について、環境投資の観点をより明確にします。</p> <p>「対応方法④」 SDGsや脱炭素化など世界共通の課題解決に向けた取組と経済的な価値の創造 「取組イメージ」 SDGsやゼロカーボン、GX等に取り組む海外企業からの投資促進</p>
6	<p>P14 3 展開方向 <u>展開方向Ⅰ：北海道の魅力や強みを活かした海外展開</u> <u>(1) 北海道ブランドの確立と戦略的活用</u></p> <p>「対応方向」の②「ターゲットの明確化・重点化による北海道ブランドの海外展開」</p> <p>P15 <u>取組イメージ</u> 及び P25 各分野別の重点 <u>「食」の「関連するイメージ」</u></p> <p>◆食の高付加価値化、米や日本酒といった中期的な重点品目に加え、伸びしろが期待される魚種等、中国やASEANなどの輸出先国・地域の重点化などによる道産食品の輸出拡大</p> <p>上記文言に、北のハイグレード食品やワイン（GI認証）などの記載の有無を検討すべき。</p>	<p>ワインについては、道の施策で支援しており、現行輸出拡大戦略でも記載があるため、次のとおり修文します。 ・P25 食＞主要品目＞（その他）日本酒やワインなどアルコール飲料など</p> <p>北のハイグレード食品については、現行の表現「食の高付加価値化」で読み込めるため、現行の文言のままとします。</p>
7	<p>P15 3 展開方向 <u>展開方向Ⅰ：北海道の魅力や強みを活かした海外展開</u> <u>(1) 北海道ブランドの確立と戦略的活用</u></p> <p>「北海道食の輸出拡大戦略」では、「米、日本酒、青果物、牛肉」を重点品目に設定していることから、「取組イメージ」の中にある「食の高付加価値化、米や日本酒といった中期的な重点品目に加え、・・・」という表現から、「食の高付加価値化、米、日本酒、青果物や牛肉といった・・・」に修文してほしい。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、展開方向Ⅰ（1）北海道ブランドの確立と戦略的活用の取組イメージを「食の高付加価値化、米、日本酒、青果物や牛肉といった・・・」に修文します。</p>

8	<p>P20 3 展開方向 展開方向Ⅲ：世界情勢の変化への機動的で柔軟な対応 (1) 世界を視野に入れた力強い地域経済の確立</p> <p>「取組イメージ」に記載の「食料安全保障の強化や燃料等高騰対策など、国際情勢の変化に機動的に対応した施策の推進」については、ぜひ押し進めていただきたい。</p>	<p>食料安全保障の強化や燃料等高騰対策など、国際情勢の変化に機動的に対応した施策の実施に努めてまいります。</p>
9	<p>P23 4 北海道と世界各地域との交流 ～各国・地域の展開内容～</p> <p>「ASEAN諸国」の「展開内容」中、「どさんこプラザ（タイ・シンガポール）や駐在員が有するネットワークを活用した食や観光など北海道ブランドの一層の浸透」とあるが、まずは北海道ASEAN事務所を記載するべきではないか。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、「ASEAN諸国」の「展開内容」を次のとおり修正します。</p> <p>【修正前】 ・「どさんこプラザ（タイ・シンガポール）や駐在員が有するネットワークを活用した食や観光など北海道ブランドの一層の浸透」</p> <p>【修正後】 ・「北海道ASEAN事務所などの駐在員が有するネットワークや、どさんこプラザ（タイ・シンガポール）を活用した食や観光など北海道ブランドの一層の浸透」</p>
10	<p>P25 各分野別の重点</p> <p>「観光・交通」中、「観光需要の回復に向けて戦略的に誘客促進に取り組みます。」を「観光需要の回復及び高付加価値化に向けて戦略的に取り組みます。」に変更すべき。</p> <p>（理由） 宿泊や飲食業界では、人手不足が深刻な状況にあることから、単に客数を増加させるだけでなく、道内観光の復活に向けて、旅行の高付加価値化を図ることが重要であるため。</p>	<p>ご意見の趣旨と北海道観光のくにつくり行動計画を踏まえ、各分野別の重点「観光・交通」の中で、「観光需要の回復及び高付加価値化に向けて戦略的に取り組みます。」に修文します。</p>
11	<p>P25 各分野別の重点</p> <p>「食」の「主要品目」について、「畜産物・畜産加工品」とあるが、「牛肉など畜産物・畜産加工品」としていただきたい。</p> <p>（理由） 当地域では、牛肉の輸出に関する取組を進めているため。</p>	<p>主要品目については、「食の輸出拡大戦略」の主要品目別の展開方向に合わせ記載しております。なお、関連する取組イメージを「食の高付加価値化、米、日本酒、青果物や牛肉といった・・・」に修文します。</p>